

苫小牧市立清水小学校学校便り

# 清水の子



『未来を創造する  
清水の子の育成』  
◇学びを広げる子  
◇思いやりあふれる子  
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-  
es1@hokkaido.school.ed.jp

第 9 号 令和4年11月29日発行

## 「世界一明るい清水小学校」をめざして

いじめは、児童の心身の健全な成長に重大な影響を及ぼす人として決して許されないものです。また、いじめは、加害者、被害者のほか、加害者の周りにはやしたてたり、面白がって見ていたりする観衆の層、そして、見て見ぬふりをする傍観者の層の四層構造になっており、集団の問題とも言われています。学校では「いじめ防止対策基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を進めているところです。

集団で生活をする中で、人間関係による様々なトラブルが発生することがあります。それを問題にならないようにするため、学校では、お互いを認め合い、学び合いができる温かい人間関係を築けるように取り組んでいます。

本校では、お互いを知り合う活動、違いを認め合い、違いを尊重する活動を進め、自己肯定感が高まるよう、教師からの直接の指導によるものだけではなく、子どもたち一人一人が自分で考え、行動できるようにしています。児童会を中心とした活動もその一つで、子どもたちが様々なアイデアを出し、活発に行われています。これまで、児童会の取組として、自己紹介ゲーム（児童会三役主催）、ドッジボール大会（保体委員会主催）、しっぽとりゲーム（学級員会主催）、学年インタビュー（放送委員会主催）、「友情」などをテーマにした図書の紹介（図書委員会主催）などがありました。どの取組も「世界一明るい清水小学校」にしたいという子どもたちの思いから生まれた活動です。そして、本日、児童会三役主催の「なかよし集会」がありました。この集会では、「いじめ0」にするための活動を各学年で話し合ったことを発表していました。



学校では、未然防止から始まり、早期発見、早期対応をするために、組織的な対応を心がけています。学校全体として、児童へのアンケート調査を実施するとともに、相談時間を設け、一人一人の気持ちを受け止めるようにしています。ご家庭でもお気づきのことがありましたら、学校にお知らせください。